

父の日 に向けて

6月の第三日曜日は父の日。母の日に比べてマイナーな感じがします。子どもにとって、母はいちばん身近な大人であり、四六時中一緒にいる時間が多いことや母の行動を間近で見ているので、感謝の気持ちをもちやすいこともあるでしょう。母子という普遍적인関係性とイメージがよりファンタジー感をもたせてくれるのかもしれませんが、それに比べると父と子の関係は身近ではなくちょっと遠い。だけど、父親の存在は無意識に子どもに大きな影響を与えていると思います。

私は14歳の時に父を亡くしました。闘病期間が2年弱で、その前は単身赴任で離れていたの、一緒に生活したのは10年ちょっと。一緒に過ごした時間を考えると、本当にわずかな時間です。父はA型で勉強好きのまじめな公務員。とても丁寧な言葉を使い、自分のことは「私」か「僕」と言い、「俺」と言うことはありません。あぐらかかずに正座をする人でした。細くて美しい文字を書く人で、子どもながらも、父の文字には特別な気持ちをもって見ていました。英語も得意でした。父の使っていた英語の辞書には、butterfly=てふてふと書いてあり、その古さを感じたものでした。

几帳面でやや神経質できれい好き。滅多に怒ることはありませんが、ある時間までにきちんと片付けていないと叱られました。おしゃべりなほうではないので、よく母に言葉で負かされていました。

唯一の趣味が競馬。少ないお小遣い（推測）で馬券を買い、たまに当たるといつも舟和の芋ようかんとあんこ玉を買ってきました。舟和とは、創業明治35年、和菓子の老舗で芋ようかんとあんこ

玉が有名です。舟和のお店を見つけるとその頃の記憶を思い出し、時々仏壇にお供えています。あの頃と変わらない味。味覚からもあの懐かしさを感じることができるのは幸せなことです。

私は小さい時にひどいX脚で、寝る前に必ず鼠径部までのギブスを付ける習慣がありました。少しでも改善されるように、父は毎晩、私が寝付くまで足を撫でてくれました。「大丈夫治るよ」と言いながら、しばらくさすってくれるのです。そして、寝付くとギブスをつけ、ていねいに布団をかけてくれ、その上からまたゆっくり全体をさすってくれました。私は寝ているはずなのに覚えがあります。3歳～6歳くらいの記憶ですが今でも鮮明に覚えています。

父は小柄で手も小さいのですが、指が太くて掌も厚くしっかりしたつくりでした。いつも温かくて、冬でも父と手をつなぐとポカポカしていました。40年近くたった今でも父のあの手を思い出します。たくさんの手を出されても、あの父の手を見つける自信があります。心と体感と記憶は、私の中に「父」という存在を鮮明に遺してくれました。

父が亡くなってからは母子家庭でしたが、いつも父がいたような環境がありました。母がそんな雰囲気を作っていたのかもしれませんが、家庭全体が父に守られている感じがありました。それは今もどこかに感じています。私の中にある父から受け継いだものや、子どもたちが受け継いでいるものにも感じるのかもしれませんが。

私は去年、父が亡くなった年齢を越えました。やり残したことがあったろうと思います。でも、私が元気で幸せであることが、何よりも父への供養になると思います。

今回、父のことを文字にしたことで、また思い出はクリアになりました。父の日にはまた舟和の芋ようかんとあんこ玉をお供えしたいと思います。父の日ありがとう。世のお父さんたち、ありがとう。

チャイルドケア本部講師 松本 美佳

「からだ」と「対話」から知る 幸せな生き方

●整体ボディワーカー 山上 亮先生

●プロフィール● 山上 亮（やまかみ りょう）

野口整体の創始者である故・野口晴哉氏の教えとシュタイナーの思想に影響を受けながら、人間の「からだ」の能力、可能性を引き出すためのボディワークを提案。整体ボディワーカーとして、老若男女の元気な「からだ」を追求中。二人の男の子の父。著書「子どものころにふれる 整体的子育て」「子どものころにふれる 整体的子育て2〜わが子にできる手当編〜」「子どものしぐさはメッセージ」（すべてクレヨンハウス）

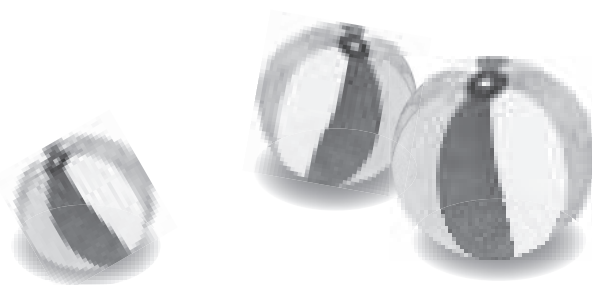


* インタビュー チャイルドケア本部講師 松本 美佳

子どもの成長過程にある「動き」「しぐさ」から心とからだの整え方や親の在り方を提案する「整体的子育て」で注目されている山上 亮先生。その手当では日本の古き良き子育ての中にあつた「家庭力」を感じさせる温かさと穏やかと同時に、目先のことに動じない包容力と見守る力があつます。チャイルドケアは、実は「野口整体」や「シュタイナー思想」の考えにも影響されているところがあるため、山上先生の手当てには、共通した考えや想いが多々あつます。

その共通点のひとつは、子どもが元気で幸せに育つためには、「親子」「夫婦」「家族」の関係性が大切だということ。これを基盤としているところですよ。今は、さまざまな手法やテクニック、メソッドなどが子育てにも取り入れられていますが、どんな良い手法であつても基盤ができていなければ、効果も出てきません。今回は、山上先生の視点で、「子ども」「親子」「夫婦」「家族」についてお話を伺ってきました。

チャイルドケア本部講師 松本美佳



野口整体とシュタイナー

——先生は、セラピストでもなく治療家でもなく、ボディワーカーという肩書ですが、ボディワーカーとは具体的にどのようなことをされるのでしょうか？

●山上●（以下敬称略）例えば主にはからだを対象として動いたり感じたりするセラピーであれば、それもボディワークのひとつです。ボディワークには治療効果のあるものも多くありますが、ボディワーク自体は必ずしも治療を目的としているわけではなく、遊びであつたり、体育であつたり、とにかくからだを使って行うこと全般がボディワークですね。

私がセラピストではなく、「整体ボディワーカー」と名乗っているのは、まず治療を目的としたセラピーを行なっているわけではないからです。野口整体の創始者である野口晴哉先生は「整体は治療ではなく教育」とおっしゃっていますが、私もそれに倣って教育だと思つて整体を行なっています。そしてボディワーカーと付けたのは、私が行なっているのがいわゆる整体の施術だけではなく、野口体操や武術などのさまざまなボディワークのメソッドを取り入れているんなことを行なっているからです。

そして私自身の思想として、それらのボディワークを行なうときの背景となる人体観に、シュタイナーの思想も多く取り入れています。整体とシュタイナー、両方の哲学、思想はそれぞれの文化背景もあつてずいぶん違う

印象もあるのですが、私の中でこの2つは非常につながりあっているんです。

——野口整体とシュタイナーを学ぶきっかけは？

●山上● 大学時代に、インドの教育を見てくるというテーマでインドに行きました。その時にいろいろ考えさせられて、自分をもっと「人間」を知りたいと思ったんです。それで帰国してから、児童文学とか心理学とか河合隼雄さんの本やシュタイナー思想にも出会って本を読んだりしました。そこで子どもが原点であると思ったんですね。

そこで東京の立川にある「賢治の学校」というフリースクールに行くようになりました。いまは「東京賢治シュタイナー学校」と名前を変えて、完全なシュタイナー学校として活動していますが、当時はシュタイナーや野口整体、竹内レッスンや自然農など、さまざまなオルタナティブな学びを行なっているところでした。私はそこで野口整体に出会ったのです。そのときにある意味初めて「からだ」というものに向き合いました。それまで、人間を知りたいと思って、心とか心理とかそっちばかり目を向けていましたが、からだって面白いって思えたんですね。そこで野口整体を指導いただく師匠に出会い、その先生が武術もされていたので、武術も習い、大学を卒業するのと同時に内弟子になりました。

——チャイルドケアも背景には河合隼雄さんや野口整体、シュタイナーの本で影響を受けてるので、山上先生のされていることにとても共感します。私の場合は自分の子どもの誕生がきっかけだったので、「子ども」を対象にしたことは自然ななりゆきでしたが、山上先生はそのときはまだお子さんはいらっしゃらなかったのしょう？

●山上● そうです。子どもどころか、まだ独身でした。子どもの教育が気になったのも、子どもを育てるということよりも、人間ってどこに向かっているのだろうって思ったんですよね。自分は何者なのか、何者になればいいのか。その手がかりとして教育に興味に向かったんです。

——それはずいぶん哲学的なお話になりますね。

●山上● 私はどうも本質的なところが一番気になっちゃうんですね。人間とは何なのかとか、人間はどのよう

に生きるべきかとか。それで教育ということを考えてときに、いったい人間がどのように成長してゆくことが正しいのかと。それが分からなくちゃ教育の方向性が分からないですよ。それで教育思想に興味をもって、シュタイナーに出会ったんです。子どもとか大人とかではなく、人間は何を…ということですね。

——山上先生は、原点を「人間」とされていて、チャイルドケアは「命」としていますが、向いている方向が同じような気がします。答えが出るものではありませんが、考えて自分なりの答えを見出すことはとても大切なことですね。

元気でつらつと生きること

——お子さんへの整体はどのようにされていますか？

●山上● 私が施術指導する場合、親子でいらっしゃる方が多いのですが、もし施術時間がひと枠しかない場合には、お母さんに受けてもらいます。子どもは受けなくても、お母さんが元気になれば子どもも元気になりますから。お母さんが変われば子どもは変わります。つまり感応し合うんです。感応というのは整体の用語なのですが、心やからだ共鳴すると言うんでしょうか。響き合って通じ合うようなそんな状態です。とくに親子は感応しやすいですから、お母さんが笑えば子どもも笑う。お母



さんが幸せであれば子どもも幸せを感じる。それが感応ということです。

——先生の施術は、「感応」を大切にされているんですね。その他に目的はありますか？

●山上● 私は、その人が元気ではつらつと人生を生きていくというのが目的ですね。痛みがあったり、こんな悩みがあるとされても、そこを解決することが目標ではなくて、そういう痛みがあったり、悩みをもつその人自身

を観ています。どうしてこの人は、そういうところに痛みが出たり、そういう悩みが人生において現れてくるのか、あるいはどうしてこの人はそれを問題と感じているのか、その人の傾向、その人の人間そのものを観ます。もちろんからだに触れて緊張をゆるめたり調整をしたりはしますから、痛みなどは緩和されることも

ありますが、まず私自身がその人に触れることで、理解が深まり、いろいろなことを知るきっかけになります。

そして、この人は何をやりたいのかという意図や要求のようなものを徐々に感じながら、それが具体的な体勢や動きの傾向とマッチしているのかどうか、そういうところを観ていきます。そこにズレがあるといろんな症状や問題のようなものになってくるんですよ。その流れのズレや滞りみたいなものを整えるのに、どんな一手が必要かということをイメージして、ふっと浮かんだものを提案するんです。それはたとえば「ダンスしてみたら?」とか「犬を飼ってみたら?」とか「家に帰る前にこういうことしましょう」とか、もういろんなことを言いますね。

その人のからだや家族や家庭や仕事、社会や環境が見えてくると、その人がいったいどんな流れの中で生きているのかが感じられてきます。そうするとどこが上手く流れていて、どこが上手く流れていないのか、そういうことも感じますよね。私がやっていることは、その流れを整えるということなんです。いわば、その人にかかわっている「氣」の流れを良くすることです。人生の交通整理みたいなことをするわけです。

——整体というと施術的にからだを整えていくイメージがありましたが、先生が行う整体は、時にカウン

セリングやコーチングのようなこともされているんですね。

●山上● そうですね。一般に施術的なことをする整体が多いと思いますが、私はからだに触れたり、動いてもらったりしながら、気づいたことや感じたことを提案しています。野口先生が行っていた整体自体が、じつは「何でもアリ」なんですよ(笑)。オモチャの蛇を仕込んだり、タバコの灰を着物に落っこしたり、いろいろなことをされています。もちろん整体の型というものはありますから、それにのっとってやっているんですが、何でもやるんです。元気になってもらうためにいろんなことをやります(笑)整体といえども、必ずしもからだを触らなくてもいいと思っています。その人を健やかにするには一手である必要はないですからね。

——「整体」というイメージよりも肉体を超えたものを感じますね。

●山上● 五感、六感全部含めて、その人の「からだ」を観ているんですね。それと、その人の動き、しぐさとか、その人の「動詞」を見つけることで、「からだ」を知るヒントになります。「からだ」は、モノじゃなくて現象だと思うんですね。そこにアプローチしています。

『からだ』のコミュニケーション

——現代の親子関係の問題について何か気づかれることはありますか？

●山上● 頭じゃない言葉以外のからのコミュニケーションが少ないように思いますね。基本的には、抱っこやからだ遊びが不足しています。遊びというほどのものではなくても、スキンシップというか、何となく触れ合ってもよもによするとかね(笑)

現代というのは、子どもも親も自分のからだにあまり関心を向けてない気がします。美容的な面と健康的な面からだけはやたら気にしますけど、からだという存在そのものにはほぼ無関心。だからコミュニケーションにおいても、からだという要素はほぼ入ってきません。頭でっかちになってしまって、言葉で伝達していれば、コミュニケーションは完了されていると思っている。子どもはそこまで語彙がありませんから、自分自身の気持ちをうまく言葉で言い表せないことだってありますよね。で

も言葉にならないからといってそこに何も思いがないわけではありません。もっと言えば、心は大人と変わりありません。違いはただ言葉を持っていないというだけです。ただ言葉にできないから意識しづらいだけです。そういうものは言葉としてはコミュニケーションできませんけど、からだのコミュニケーションはできるんです。手を握ったり、ぎゅっと抱きしめたり。そのときに自分でもよく分からないけど何だかホッとできたりするわけですよ。それは言葉を超えて理解し合える対話です。

——わかります。タッチしたり、子どもと触れ合うことで繊細な変化を感じたり、表情からも読み取れることはたくさんありますね。でも例えば熱を計って熱がなければ元気、痛みがないから大丈夫と思ってしまう傾向もあって、もう一步繊細に子どもにかかわってもらえれば、お母さんも安心することが増えると思いますね。

●山上● 整体の言葉ですが「満ちる」という表現をします。自分の中にある要求をすべて全うして満ち足りた雰囲気ですね。心もからだも「満足したな～」という感じ。人間関係でいえば、そういう関係がお互いに築けるということが「対話ができる」ということです。たとえ風邪を引いていたり、ケガをしていたりしても、その時の要求をしっかり全うしていけば、「満ちる」ということはあるんですね。野口整体では、病氣と病人を区別します。病人というのは、病が主人公になってしまっている状態です。整体では「病氣になっても病人になるな」と言うんですが、病人になってしまっていると、何があっても病氣のせいになり、都合良く病氣を持ち出したり、病氣がありとあらゆる言い訳や自己弁護になってしまって、その人が成長して変わっていくことを阻んでしまうんです。

そうならないためにも、要求を全うして「満ちる」ということが大事なんです。きちんと要求を全うして満ちれば、次に進めるんです。けれどもきちんと全うできないといつまで経っても次のプロセスに進めないんです。それが積み重なっていくと、やがて長い長い言い訳の人生になってしまうかもしれない。それが病人です。

親子、夫婦で『対話』をしましょう

——「対話」という言葉が出てきましたが、親子、夫婦、家族の対話とはどのようなことでしょうか？

●山上● 頭もからだも含めてきちんと対話ができるよ

うにあること、それは、親子も夫婦もいっしょですね。風通しを良くするということです。一方通行であったり、どこか一か所に集中したり、しわ寄せがあるようなことではなく、お互いが心もからだも、不満も愛情も全部含めて、風通しの良いめぐりの良い関係であることですね。親子であれば大人と子どもの風通し。夫婦であれば男と女の風通し。そこにはそれぞれの感受性や価値観の違いがありますから、そこをお互いが理解し、自覚し、対話の努力をすることですね。私にとって、言葉もからだもありとあらゆるやりとりが、コミュニケーションであり、対話なんです。

——最近では親子の愛情のかけ方がゆがんでいるとか、不足はもちろん良くないですが、過干渉、過保護の傾向もありますね。子どもを親友化したり、恋人化させる親が増えています。仲良しというより依存している関係。それは本来の自立を奪ってしまい、歪んだ家族関係を作ってしまうことになりそうです。

●山上● それはね。対話ではないです。私の言葉でいえば「呪い」ですね。この中にいけば快適だよという状況を作り出して、外に出さない。それは愛じゃなくて欲望。一見相手に自由な選択肢を与えているようで拒否権は与えない。それは呪いです。対話は、離れていてもいいんです。でも閉ざしてはダメです。入口も出口もあって自由に行きかうことができる。つまりそれが風通しの良い関係です。そのためには、親自身が風通しの良い対話ができる人であることですよ。親自身が閉ざしているか



ら、方向が子どもにだけ向いてしまうんでしょう。対話のできる親であれば、風通しはいいから子どもも自由に入りできて、子ども自身も自分の世界の風通しがよくなり、社会とつながっていきますからね。

そういう子どもに過干渉してしまうような親というのは、基本的にその背景に夫婦自体が対話できていないということがあると思います。男と女として、あるいは一個人としてきちんと向き合えておらず、いろんなことを見ないようにして触れないようにするものだから、風通しが悪い。夫婦の対話ができていると子どもに対しても風通しの良い関係ができるから、閉ざすことはないし、呪いをかける必要もないんです。

———親子の問題というよりもそれ以前に夫婦として問題があるわけですね。

●山上● 夫婦と言ったって元々は他人ですから、違う好みがあり、違う価値観があり、ズレがあるのは当たり前なんです。しかも男と女ですからね、絶対分かり合えっこない大きな壁があるわけですよ(笑)。でもだからこそ、対話をしなければうまくいくはずがないんです。男と女がしっかり向き合っている中で風通しの良い環境が基盤にあり、その中で子育てをすれば、子どもに依存するなんてことはなくなりますね。

———夫婦の対話のコツとは何でしょうか

●山上● ちょうどこの間、妻とその話をしていたんですけど、夫婦ってどうやったらきちんと対話ができるんだろうね?って。それで大事なものは、相手の話をちゃんと最後まで聞くってことだろうと思ったんです。だからね。

3分タイマーをかけて会話をしたらいいんじゃないかってことになったんですよ。3分間チーンとなるまで妻がしゃべる。その間夫は黙って一切しゃべらずに話を聞く。そしてチーンって3分間経ったら、今度は夫がその話に対して意見を言う。

だいたいケンカになっているときって、相手の話を最後まで聞かずに、途中で遮ってかぶせながら自分の意見を

言ったり、自分の思いだけを一方的に話すことが多いんじゃないかと思うんですよね。でもそれじゃ対話になってないわけですよ。最後まで話を聞くということを互いにしていないんじゃないかって。だから最後まで黙って相手の言い分を聞くってことをまずしようと。

———傾聴ですか?

●山上● 傾聴できればもちろんいいけれど、そこまでできなくてもとりあえずはまず「黙る」ってことです。相手が話をしている間は最後まで黙る。それで自分の言い分は、自分の番に言う。それでこれはもう練習だと思ってタイマーでチーンとやっちゃう。そういう対話のワークをするってことですよ(笑)。まあこんなことをケンカしているときに毎行なうのも難しいと思いますけど、でもとにかく一度やってみて、それでいかに自分が相手の話をちゃんと最後まで聞けていなかったかという自覚につながればいいわけです。相手の言い分をしっかりと聞いてあげているという自覚は対話では大切ですからね。

———忙しいということで、そういう時間が作れない人も多いですね。チャイルドケアでもお茶の時間を作ろうと促しているんですが、それは何のお茶を飲むかが大事ではなくて、ブレイクタイムをもって、子どもやパートナー、時に自分自身に向き合ってもらう微調整の時間として提案していますが、お茶というツールに焦点があつてしまうと、目的がズレてしまうんですね。

●山上● ツールがあると、それが焦点というか目的になりがちですよ。このワークは対話ができるようになるための基本ドリルみたいなものですから、タイマーとか何分とか、そういうことは別にどうでも良いんですよ。会話のキャッチボールが上手にできるようになるための練習ですから。その対話の初歩的な「順番こにしゃべる」という基本的な型を、一度きちんとやってみると良いんだと思うんです。

実は私は、これを兄弟ゲンカの時にやってみたんですよ。子ども二人を座らせて、それぞれの言い分を2分間のタイマーで話させたんですよ。2分たったらチーンって。まず上の子。なんだか言い訳みたいなことをモジョモジョ言っているうちにチーンって鳴って、その次に下の子。グスグス泣きべそかいて何も言わないうちにチーン。そしてまた上の子。でもそうしたら下の子が「ママの順番は…?’」って(笑)。「ママ?ママ関係ないんだけど…



じゃあママも」ってことになって2分しゃべってチーン。そうしたら今度は「じゃあ次はパパ」ってなって…(笑)。何だかよく分かりませんが、いつの間にか家族みんなで2分間ずつチーンって順番に会話していました。でもこれがけっこう対話になっていて、なかなか良かったんですね。ちゃんとしゃべって、ちゃんと聞いて。半分ワークで、遊びみたいなんだけど、ちゃんと一人一人の話が聞けた。だから皆さんにもおすすめしようかと(笑)

話がそれましたけど、まあ、このくらいの練習をしないと、男と女だって対話が難しいのかもしれないってことなんですけどね(笑)

———相手を認めて、想いを受け止めるということですね。

●山上● うまく言葉にできないけれど、なんか腑に落ちないとか何となくイヤだとか、そんなことってありますよね。そんなあやふやな気持ちはうまく説明できないからつい黙っちゃったり、たとえしゃべっても意味が分からなくて相手も軽くあしらっちゃったりすることがありますけど、その「うまく言葉にはできないけれど何かイヤなんだ」という気持ち自体は、とりあえず認めて同意してあげることができると思うんです。

「よく分からないけど、何かイヤな感じなのね?」と。理解はできなくても、そういう言葉にならないフツとした感情のさざ波があること自体は認めることができますよね。それは対話の大前提だと思うんですよ。

それさえできれば「じゃあ、もしそれが言葉になったら改めて教えてね」とか「うまく説明できなくても良いからどんな感じなの?」とか、それが相手の中で言葉になるのを待ったり、言語化を手伝ったり、そんなこともできると思うんです。

父として

———先生のお子さんは今おいくつですか?

●山上● 今上の子は11歳、下の子はもうすぐ6歳の男の子です。

———お子さんができて何か変わりましたか?

●山上● 基本的に変わりません。自分の子どもも他人の子どもに対しても同じですよ。ただ、自分の子ども

はずっと一緒にいる時間が長いです。

———父親として何か思うことはありますか?

●山上● 長期間のスパンで子どもを育てるという責任をもったので、何を教えるのか、何を育てようかというのは真剣に考えますね。この子に何が必要なんだろうとかね。子どもが成長していった、自分の人生を歩んでいく時に自分が最初にかかわるわけですから、しかもその方向性を大きく左右するわけですからね。その子が幸せになるために、そしてその子がかかわる周りの人も幸せになれば、こんなにいいことはないですからね。そういう大人になるために、そういう人生を歩むために何が必要かということですよ。

———つつい目先のことばかりで何のおけいこ、塾、学校に行かせようかと行きがちですが、本当はそういう人生観、生き方ともいえる考えや想いを夫婦で対話しながら、考えていけたら良いですよ。

●山上● 私はやっぱり「人間」を観ているんで、自分の子どもとかそういうことも関係なくて、その子が一個人として自身の個性を存分に発揮して、人生を幸せに生きていってくれば良いんですよ。

———先生のお話はチャイルドケアの概念と共感することが多々あります。それはどちらも元気で幸福であることが目的だからですね。今日は先生がお持ちの哲学と大らかな愛のお話をたくさん聞かせていただきました。ありがとうございました。

お知らせ

チャイルドケア研究所主催イベント

山上 亮先生

特別講演会&ワークショップ 開催

12月8日/八洲学園大学(横浜)

詳細、申し込み方法は次号PKB50号(10月発行)でお知らせします。



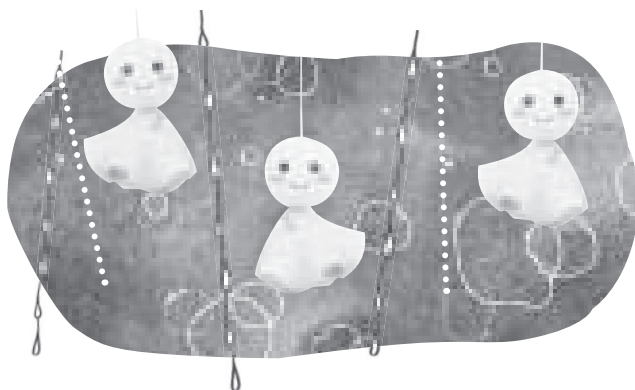
子どものためのライフスタイル

てるてる坊主

梅雨に入りました。日本の四季は決して春夏秋冬だけではなく、「梅雨」も大きな季節のくくりです。雨の日が多くなり、子どもたちは外遊びができず、家の中で飛んだり跳ねたりするのもたしなめられます。親も洗濯物が干せない、乾かない、買い物に行くのも億劫になり、家庭の中はストレスが溜まりがちです。でもお天道様に文句が言えるわけでもなく、雨が降らないというのも水不足や作物に影響があり、困った問題になります。

雨を疎ましいものではなく、楽しいものにする工夫が必要です。私が子どもの頃、雨の日には、よくてるてる坊主を作ったものでした。てるてる坊主は翌

日の晴天を願い、白い布で作った簡素な人形を軒先につるすものです。日本に古くから伝わる風習ですが、最近はあまり見かけなくなりましたね。その由来を知ると、少し見方も変わってくるかもしれません。



中国に伝わる 「掃晴娘」

中国に古くから伝わる「掛掃晴娘（グアサオチンニャン）」と言って、箒を手にした切紙人形があります。晴れてほしい時にこの掛掃晴娘をつるして、空の雲を箒で払ってもらうものです。諸説ありますが、これが日本に伝わって「てるてる坊主」になったとされています。

実は、この掃晴娘の悲しいお話があります。昔、晴娘という名の切り紙が得意な少女がいました。ある時大雨が続き、晴娘は、雨が止むように天に向かってお願いしました。すると天から「東海龍王の妃に

なれ。さもないと洪水を起こす」という声がありました。晴娘が天の命に従うことを決めると大風とともに晴娘は消え、その後覆われた雲が消えていき、青空になりました。人々は人身御供となった晴娘を忍んで、雨が降るとこの切紙人形を軒下につるすようになり、「掛掃晴娘」と呼ばれるようになったそうです。そんな風習も中国ではすっかりすたれ、晴娘のことを知る人はいないようです。

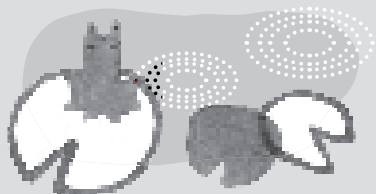
江戸時代の 「照る照る法師」

日本には、江戸時代の頃に中国から伝わったとされています。「掛掃晴娘」という女の子から、日本に伝わるとなぜか「照る照る法師」「てるてる坊主」「日和坊主」と

呼ぶようになりました。その理由として、日本では日照りのお祓いや願掛けをしたのがお坊さんだったからのようです。

ちなみに、皆さんはてるてる坊主を作るときに顔を先に書いていますか？ これはNGです。てるてる坊主に願掛けするとき、顔を先に書くと雨になるといわれています。願いが叶い、晴れたら目鼻を書いてお祀りするのが正式なやり方だそうです。これは江戸時代の書物に書かれているとのこと。逆に吊るせば雨が降るとも言われています。

何となく雨の日のマスコットのようなイメージのてるてる坊主。実は、私たちが幸せに暮らすためには、何かが犠牲になっていることを教えてくれているのかもしれないね。



主人と私と 「なつのあおいそら、 はるかかなた」

CCC 天野 綾香さん（愛知県岡崎市）

現在2男3女の5児の母です。ヨガの先生に誘われ、チャイルドケアを学び始めて8年が経ちました。子育てはひと段落と思っていた頃、昨年3年ぶりに5人目となる娘が産まれ、チャイルドケアを身近に感じている日々です。

帰りが遅く朝が早い主人は、子どもが小さい時から絵本を買ってきて、休日など読み聞かせをしてくれました。今では会社に行く前のわずかな時間でも、ワイシャツのままおんぶや肩車をしてくれています。チャイルドケアの「私たち人間は、動物や植物と同じように地球に存在する一生命体」という考え方が好きなこともあって、自然の中で過ごせるキャンプによく行きました。夫はダッチオーブンで料理を作り、子どもは燃えやすい小枝などを集めて火を大きくする役目があります。日常では携帯ゲームをしてしまう子どもですが、家族で大自然の中で素材のおいしさを味わうことはなによりの贅沢です。

そんな接し方を心がけている我家ですが、長男が小学校高学年の時に、担任の先生から授業を妨害すると呼び出しを受け、専門家のカウンセリングを受けた方が良いと言われました。私は先生と一緒に子どもを責めてしまいましたが、主

人はADHD（注意欠陥・多動性障害）なのではないかと考え、本屋に行き調べていました。主人が感情的にならず、広い物の見方をしてくれたお陰で、私も冷静になることができました。

ピーカーブで届く松本先生のお話を何回も読み、子どもをありのままに受け入れることや、安心感を持たせることの大切さを学びました。寝る前には足のマッサージなどもしていました。しかし長男は、中学生の間は心を閉ざしたかのようになり口になりました。受験生になっても自発的に自宅で勉強している態度が見られず心配でしたが、主人は時間を見つけては苦手教科の問題を与え、一緒に考えていました。長男は家族とぶつかることもなく、自分でもがいて頑張っていたようです。私たち家族も皆で見守り支えました。その甲斐があって、希望の高校に合格することができました。子どもを信じようとした根っここのところに、ケア



くれました。「赤ちゃんも痛いよね、もう少しだよ」「上手に降りてこられるね」と赤ちゃんを励まししながら自然の流れに五感をゆだねての出産になりました。主人も痛みが変わる所をその度さりながら、ずっと側に寄り添ってくれました。赤ちゃんに対して初めて夫婦でできたケアの一つかもしれません。

思春期真っ只中で、まだ素直な気持ちを表せない長男も、三女が産まれた時からずっと柔らかな笑顔と声であやしてくれます。次女に対して絶対怒らないで話を聞いてあげる長男の姿は、私も見習わなくてはいけないという気持ちになります。時には、長男も主人がするようにおんぶや肩車をしてくれます。こうしてケアの輪が繋がっていくことで、家族の絆が強くなっていくのだと、とても幸せに思います。

5人の子どもの名前をつなげると「なつのあおいそら、はるかかなた」です。子どもたちの未来に澄んだ青空が広がるように、主人と育てていけたらと思っています。



の効果があったと思っています。

昨年、新しい命を授かった時に、チャイルドケアで勉強したことを実践するチャンスだと思いました。出産の時主人は会社から駆けつけてくれ、初めて最初から最後まで立ち合っ

夫婦でつくるホームケア

CCC 石原 恭子さん（東京都板橋区）

チャイルドケアを始めてから、風邪がひどくなる前に対応できることがあるので、病院通いが少なくなりました。自然素材を使ったケアも取り入れ、ドラッグストアに行くことも少なくなりました。子供たちと香りのクイズをしたり楽しんでいます。

我が家は、主人、私、子ども（男の子3人）の5人家族です。3人の子どもたちは、主人が用意してくれる足湯に入るのが日課になっています。リビングで桶にお湯を張り、アロマオイルを入れて入ります。咳や鼻水が出ると殺菌作用があるティーツリー、学校行事で緊張している時期は元気になるオレンジなど、その時々の調子に合わせてオイルを選んでくれます。最近はお子さんから、「足のお風呂に入りたい。」と言うようにもなりました。結局、1人が入ると、3人とも入っています。そうすると、もちろんリビングは濡れてしまい、主人は大変そうですが、大事なコミュニケーションのひとつとなっています。

今では、ホームケアが楽しい時間という形で我が家に定着していますが、母親の私自身がチャイルドケアの重要性に気づき、本気で取り入れるようになったのは、CCCを取得してしばらく経った、三男が生まれた年の冬でした。長男が幼稚園

に入園した年でもあり、外に出る機会が増えたせいか、まず長男が病気になります。すると、数日後には次男にもうつり、そして次は赤ちゃんの三男へと、病気を3人でリレーし始めたのです。冬に流行る病気という病気にほとんどかかりました。病気の子を看病していると、他の2人も思い通りにいかないとぐずぐずし始め、家事は滞り、家の中は混乱していきました。看病している私も寝込むことがあり、焦り、イライラ、気持ちが弱っていくのが分かりました。3人の子どもの育児に不安が募りました。

そこで何とかしなくてはという気持ちから、まず自分が元気になることができ、アロマセラピーを思い出しました。自然の香りを近くに置くことで、気持ちが切り替えられるようになった時に、まず、母親の私が慌ててはいけないのだと強く思いました。そして、子どもたちのケアについても真剣に考えるようになりました。アロマセラピーの有用性を実感していたので、子

どもたちにすぐに実行しました。

三男は10カ月だったので、少しずつ様子を見ながらやっていき、徐々に足湯が定番になっていきました。三男が1歳を過ぎてからは、レモンとはちみつでレモネードを作ったり、体を冷やす食材を控えたりと、体の中から温めることも気を付けていきました。そうして



いるうちに、主人も育児の延長で自然とケアをしてくれるようになっていきました。そんな生活が実を結んだのか、今では病気ばかりで大変だった冬はなくなりました。

今後、もし子どもたちが病気になったとしても、以前のように慌てることはないと思います。私にはホームケアという薬箱があるのだと。ホームケアを夫婦で分かち合うことができ、夫婦、家族の絆が深められたのではないかと思います。





陰陽論

陰陽論とは

陰陽論は、自然界のあらゆるもの(森羅万象)は「陰」と「陽」という対立する2つの属性に分類できるという考え方で、東洋医学(中国医学)の重要な概念(古代哲学思想)になります。



左の図は太極図と言い、陰と陽の変化(移り変わり)を表します。左側の白い部分が陽で陽の中にある黒い●の部分「陽中の陰」といい、陽がいくら強くなっても陽の中に陰があることを表します。「陽中の陰」とは、例えば男性の中の女性性などを表します。右側の黒い部分が陰で陰の中にある白い○の部分「陰中の陽」といい、陰がいくら強くなっても陰の中に陽があることを表します。「陰中の陽」とは、例えば女性の中の男性性を表します。

陰陽両部分の面積は等しくなっていて、バランスが取れていることを表します。上の図の場合、左から右へ移り替わり(時計回り)、陽が極まると陰に転じ、陰が極まると陽に転じるということを表します。一年(季節)の移り変わり、一日の移り変わりなど、森羅万象の移り変わりを表した図になります。

「陰」と「陽」のバランスでみる

「陰」というと暗い印象、「陽」というと明るい印象を持たれる方も多いでしょう。どちらかというと「陽」のほうが良いと思っている方も多いでしょう。しかし、陰陽はどちらか一方だけでは存在しませんし、分離することもできません。また、陰陽は固定されたものでもないのです。陰陽は対立した関係にあります、それぞれが制約しながらバランスをとっています。陰陽は相対的概念で、具体的な

物、事、現象を指すのではなく、「移り変わるもの、極まると転換するもの」として考えます。

空に向かい投げ上げたボールはどこまでも上昇しないで、あるところから下降するということ。あるいは風邪で高熱が出て、あるところで寒気がして下がり始める。このようなことが「陽が極まると陰が勢力を強めだす」ということになります。極端な例ですが、子どもがたくさん遊んで遊び疲れてバタッと眠ってしまうことや、成人も働きすぎて過労により突然倒れてしまうなど、これも陽が極まり、瞬時に陰に転換した状態です。

「陰」と「陽」の性質

- 陰の性質／暗い、寒冷的、下降的、内向的、静的等々
- 陽の性質／明るい、温熱的、上昇的、外向的、動的等々
- 陰／地・月・夜・暗・後・右・下・静・寒・女・腹・臓・下半身等々
- 陽／天・日・昼・明・前・左・上・動・熱・男・背・腑・上半身等々

さまざまなことが陰と陽に分類できます。また、陰と陽のバランスがとれていることを中庸ちゅうようと言い、人の身体でいえば健康な状態であると言えます。

身体の陰陽

頭寒足熱ずかんそくねつ=上下(陰陽)のバランスが取れている状態のことです。上熱下寒(冷えのぼせ)や、上実下虚(気が上の方に偏り、下の方が不足している)は陰陽のバランスを崩している状態で肩こり、頭痛、めまい、イライラ、怒りっぽい、足腰の冷え、おなかの冷えなどが起こります。

現代人は頭の使い過ぎで、歩く事が少ない傾向にあり、気が上に偏りがちです。主に下半身を使う歩行などにより、気を下に下げることも必要です。

●陰性体質

一般的に女性が多い、寒がり、体温や血圧が低い、神経質で消極的、温かいもの(飲食)を好む等々。

○陽性体質

一般的に男性が多い、暑がり、血圧や体温が高め、楽天的で積極的、冷たいもの(飲食)を好む等々。

●陰性(身体を冷やす)の食べ物

暑い時期が旬の食べ物、南国で取れる食材／砂糖、パン、暑い地域でとれる果物(パナナ、パイナップル、マンゴー、スイカなど)、生野菜、牛乳、等々

○陽性(身体を温める)の食べ物

寒い時期が旬の食べ物、寒い地域で取れる食材／牛肉、豚肉など肉類、鶏卵、鮭、根菜類、ショウガ、玉ねぎ、梅干し、寒い地域でとれる果物(リンゴ、ブドウ、サクランボなど)、等々

陰性体質の人は陰性の食べ物の摂りすぎに、陽性体質の人は陽性の食べ物の摂りすぎに注意が必要です。

陰陽と左右について

陰陽と左右の関係では、左が陽・右が陰になります。左は訓読みで「ひだり」、右は「みぎ」と読みます。「ひだり」は「火足り(ひたり)=陽の極み」、「みぎ」は「水極(みぎ)=陰の極み」を表しています。「火」は陽、「水」は陰であり、日本語で読むと陰陽の関係性がわかりやすくなります。

左手は「火(か)」、右手は「水(み)」、左右の手を合わせると、火水(かみ)=神(かみ)となります。そのことを踏まえると、拍手を打って神様へのお祈りをする際もさらに気持ちがこもります。

日本の神話にも陰陽と左右の関係が見られます。「イザナギノミコト」の左目から「太陽神(陽)」の「アマテラスオオミカミ」、右目から「月の神(陰)」である、「ツクヨミノミコト」が誕生したとされています。

松本美佳先生の チャイルドケア研究所企画主催講座

9月

19日

チャイルドケア研究所 チャイルドケアの日

ヒンメリワーク&お話し会

チャイルドケアのお話をしながら、手軽に作れるクラフトのワークショップを行います。今回は「香りのヒンメリ」を作ります。その後ランチ会でさらにおしゃべりで楽しみましょう。ヒンメリはフィンランドで伝わる藁で作るモビール。今回は使いやすいストローを使って作ります。

- ◆日時／9月19日(水) 10:30～12:30
- ◆場所／都内某所の予定
- ◆会費／MC会員/4,000円 + ランチ代

チャイルドケア研究所 特別企画

山上亮先生の 整体的子育てのお話 &ボディワーク

12月
8日

特集でご紹介した整体ボディワーカーの山上先生をお招きして、お話とボディワークを行います。

- ◆日時／12月8日(土)
- ◆場所／八洲学園大学内(横浜)

※詳細はホームページ、またはPKB50号でお知らせします。

チャイルドケア研究所 <https://cckenkyujo.jimdo.com/>

お問合せ・申し込み／チャイルドケア研究所 cckenkyujo@gmail.com

八洲学園大学 eラーニング

チャイルドケア講座

9月末まで
オンデマンド
受講可

eラーニング『基礎』『応用』講座

eラーニングで学びなおし、学び深めをしよう!

	基礎講座 テーマ	応用講座 テーマ
1	序章 チャイルドケアの概念	7つのコンセプトⅡ
2	チャイルドケアと自然療法	チャイルドケアと自然療法Ⅱ
3	子どものスキンケアと足の健康	からだの見方
4	子どものためのハーブティー	ホームケアのための自然素材
5	子どものためのアロマセラピー	チャイルドケアのための香り育て
6	子どものためのライフスタイル	子どものためのライフスタイルⅡ
7	チャイルドケアのための東洋医学	チャイルドケアのための東洋医学
8	タッチセラピーとベビー&チャイルドマッサージ	小学生からのタッチ&マッサージ

- ◆基礎講座 受講費／第1～7回 各3,000円 第8回4,000円
- ◆応用講座 受講費／第1～8回 各3,000円
- ◆リピート受講割引(全講座分)／基礎講座 8,000円 応用講座 8,000円



八洲学園大学 公開講座 <http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/>

お申込み・お問い合わせ

八洲学園大学 Tel/045-317-4401

オンデマンド受講とは、ネット環境を通じた動画配信による受講です。受講期間中であれば何時でも何回でも視聴できるシステムをご利用ください。受講期間中の質問も受け付けています。

いやしの祭典 2018

東京・大阪・JAA後援サテライト10会場での開催が決定しました！

いやしの祭典ではアロマセラピーをはじめ、ハーブ関連の商品販売、トリートメント、各種体験、フードブースなどお楽しみいただけます。最寄りの会場に是非お越しください。

詳細はこちらから

https://www.jaa-aroma.or.jp/iyashinosaiten_pj/

いやしの祭典 2018 検索

TEL / JAA 03-5928-3100

※ 6 月中に専用サイトにて全国の各詳細をご紹介します。



入場無料

東京

- 日時/11月10日(土)
10:30~17:00
- 会場/秋葉原UDXギャラリー

ココロとカラダ~よいこと市~ メイン会場は東京と大阪!

限定商品、こだわりの美活foodコーナー、音楽、セミナーと盛りだくさん!!



大阪

入場無料

- 日時/11月18日(日)
10:00~16:30
- 会場/OMMビル
2階Cホール

岩手

くずまき高原ラベンダーフェスタ 2018

~大自然の中で、見て、触れて、嗅いで、聴いて、味わって~

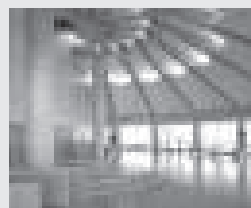
- 日時/7月15日(日)10:00~15:00
- 会場/くずまき高原牧場
- 受付/一般社団法人地域福祉
アロマケアラー協会
080-5577-6111(佐藤)



山形

♪~癒しの音楽と香りの祭典~♪

- 日時/9月30日(日)10:00~16:00
- 会場/高畠文化ホール「まほら」
- 受付/アロマセラピーサロン&
スクール Angel
090-9030-7358 (近野)
aitenshi48@gmail.com



埼玉

香りの必要性

~錆びないからだところのために~

- 日時/9月30日(日)10:00~17:00
- 会場/セレンディピタス
serendipitous space 川口
- 受付/090-8035-9367
tpurerose_0428@yahoo.co.jp(高橋)



千葉

アロマが奏でる
トキメキ小町

- 日時/9月23日(日)10:00~16:00
- 会場/妙典かななか小町
- 受付/info@natully-aroma.com
(佐々木)



京都
丹波

ご縁の香が幸せ醸し出す
カラダとココロが楽しい蔵祭り

- 日時/6月9日(土)10:00~17:00
6月10日(日)10:00~16:00
- 会場/八木酒造(メイン会場)
コミュニティスペース気になる木
JUJU(第2会場)
わざどころPON(協賛会場)
- 受付/090-5248-3093(林)
4tanemaki@gmail.com

富士
河口湖

自然の中で見つける・つながる・
五感で感じる あなたのためのメッセージ

- 日時/11月3日(土・祝)
- 会場a/10:00~12:00 会場b/10:00~16:00
- 会場a/河口湖北原ミュージアム
- 会場b/河口湖ハーブ館
- 受付/080-6629-6341
saposoap423@gmail.com(杉本)

鎌倉

鎌倉古民家でつながる
~人・植物・香り・星~☆

- 日時/11月11日(日)10:00~17:00
- 会場/ガーデン&スペースくるくる
- 受付/090-2156-3987
rosecour.aroma@gmail.com(宮地)

福山

香りの聲~自然時間

- 日時/11月23日(金・祝)10:30~16:30
- 会場/福山市ものづくり交流館
- 受付/084-921-5228(清水)

徳島
鳴門

海辺 to 香り to 幸せ時間
~ Natural Beauty ~

- 日時/9月24日(月・祝)10:00~17:00
- 会場/リゾートホテル・モアナコースト
- 受付/090-1171-3126(幸せ香房☆ちゅるる)
syknaoko210@gmail.com

宮崎

「スポーツ王国」
宮崎で楽しむアロマを&ハーブ

- 日時/10月28日(日)10:00~15:00
- 会場/農園レストラン「はいびすかす」&
アソビバカフェ「宮崎ベース」
- 受付/アロマスクール・マナマキ
090-9589-7473(福島)
oceanbros12@bell.ocn.ne.jp
Line:@krm6643h

INFORMATION

JAA主催

松本美佳先生監修 チャイルドケア1day 講習会シリーズ

レジメ
&修了証
付き

東京6月9日
大阪6月23日

何か始めたいけれど、どのようにしたらいいのかわからないという方のお声から、「知覚動考」をサポートするために企画しました。

ファイルNo.2 「ふれあいとタッチ」「感性を磨きましょう」を深める チャイルドケアのタッチケア～手ぬぐい編～

チャイルドケアの「ふれあいとタッチ」は、直接肌に触れるタッチケアだけではありません。今回は手ぬぐいを使い、着衣の上からのタッチや手遊びなどの触れ合いを通じて、感性とコミュニケーションを高めます。今回は幅広い年齢層に楽しんでいただけるワークショップをご提案します。

◆開催日/会場

・東京/6月9日(土)
アットビジネスセンター池袋駅前本館

・大阪/6月23日(土)新大阪丸ビル

◆持ち物/フェイスタオル、日本手ぬぐい

◆第1部/講座編 13:30～15:00

◆受講料/

MC会員・チャイルドケア受講生2,500円

JAA会員3,000円/一般3,500円

◆第2部/指導編/修了証付き 15:15～17:00

第1部の内容を指導していくために必要なノウハウをレクチャーします。

◆受講料/MC会員7,000円

チャイルドケア受講生9,000円

❖レジメをコピー使用して開講したい方は、必ず第1部と第2部にご参加ください。

❖JAA会員または一般の方が、第2部にご参加希望の場合、チャイルドケア講座への受講申し込み後に参加可能となります。

チャイルドケア(CC)認定加盟校 指導者講習会

加盟校開講に必須の講習会です。ご希望の方は加盟校登録をお済ませのうえ、講習会にお申込みください。すでに加盟校となられた方の復習にもおすすめです。

◆日時/12月15日(土)

12:00～17:00

◆会場/東京都豊島区

池袋駅東口徒歩5分

◆内容

【規約説明】認定加盟校の規約の再確認

【指導者講習】CC講座の指導のポイント、主宰者としての心構え等のレクチャー、質疑

応答

◆受講料/10,800円

復習受講/5,400円

◆認定加盟校開校の条件

MC会員およびCCIライセンス取得者

東京
12月15日

JAA スクーリング、講習会のお申し込みについて お申し込みは開催2週間前までにお願いします。

お電話にてお申し込みください TEL:03-5928-3100

お振込先

- 三菱UFJ銀行/池袋東口支店(普通)1920305
- ゆうちょ銀行/00170-4-122869
- 名義/日本アロマコーディネーター協会

※キャンセルは、その開催日の1週間前(土日祝を除く)までとさせていただきます。開催日1週間以内の場合は参加費用のご返金はできませんので予めご了承ください。

※会場は変更となることがあります。

※催行人数10名に満たない場合は、延期または中止となることがあります。開催の可否は、各会場2週間前に決定しますので、お早めにお申し込みください。

自主活動グループ

自主活動グループ ハミングバードからのお知らせ

ハミングバード東海 イベント企画

2018年のハミングバード東海は、季節に合わせて、愛知県内の自然を感じられる場所に足を運び、様々な体験をすることになりました。第1弾として、6月は「ハーブ園リッコ」さんが会場です。南知多の三河湾から吹くやわらかな海風が流れる小高いところにあり、多くのハーブを自社農園にて無農薬で栽培され

ています。自分で摘んだハーブや花などで、リースやスワッグ作りが体験できます。私たちと一緒に試してみませんか。チャイルドケアにご興味がある方、親子で自然を楽しみたい方などお待ちしております。

■日時/6月29日(金)10:00～現地集合

※雨天中止

■場所/ハーブ園リッコ

■参加費/3,500円(入園料・体験料込み)

お子さんの参加は、別途入園料300円

(ジュース付)がかかります。

■連絡先

●ふう～たんぽぽの里 山本 美津子
TEL:090-3162-3663

E-mail:fuu.tanponosato1599@gmail.com

●アロマケアスクールMommy 前田 智巳
TEL:080-1616-0895

http://www.mommy-aromacare.com

会員サポート講座

お近くにお住まいの方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？
学習するうえでさまざまな情報を発信されています。

㊦ スクーリング基礎編

チャイルドケアの7つのコンセプトを深めよう！

◆受講料／MC会員・CC受講生・JAA会員・JAS生3,000円
一般4,000円

㊦ ベビータッチケア入門講座 ねんね～おすわり編

◆受講料 MC会員・CC受講生2,500円／JAA会員3,000円／
一般3,500円

●その他の会員サポート講座 受講料・詳細は直接お問い合わせください。

地 域	スクール名／主催者	お申込み先	開催内容／日時
山形県 米沢市	アロマヒーリングルーム&スクール凜香 齋藤 裕美	080-1822-5481 aromarinka1207@gmail.com	㊦日時相談
山形県 長井市	アロマスクールLa.fleur 金田 弘子	TEL:070-4394-9420 la-fleur@t-knd.com	㊦日時相談 ㊦日時相談
埼玉県 羽生市	心結～ここゆい～ 鳥居 直子	080-1069-4170 rose_pink_ao_lover@yahoo.co.jp	㊦日時相談
千葉県 千葉市	チャイルドケア葉から芽(Hakaramé) 近藤 優子	043-256-0436 yukono0904@ybb.ne.jp	㊦日時相談
東京都 羽村市	クローバーアロマスクール 萱原 恵子	042-554-5742 cloverhouse@t-net.ne.jp	㊦日時相談 ㊦日時相談
東京都 青梅市	さくらいろ 普代 加奈	0428-27-3491 sakurairocare@yahoo.co.jp	㊦日時相談
東京都 北区	おひさまのたね 野澤 智恵子	090-9803-8878 ohisamahuman@yahoo.co.jp	㊦、㊦ともに平日月曜／水曜午前 他応相談 ◆ここにふれるタッチケア 平日月曜／水曜午前
東京都 小平市	アロマハーブスクール&エステサロンサシェ 鴨下 徳子	090-8514-2604 http://sachet-school.com/ ※HPよりお申込み可能です。	㊦開催日応相談10:00～12:00㊦日時相談
愛知県 豊橋市	アロマケアスクールMommy 前田 智巳	080-1616-0895 http://www.mommy-aromacare.com ※HPよりお申込み可能です。	㊦6/22(金)&9/14(金)10:30～12:30 7/4(水)13:30～15:30 ㊦8/1(水)10:30～12:00 ◆ふれあいのタッチを学ぼう7/4(水)&8/29(水)10:30～12:30
愛知県 春日井市	ふ～ たんぽぽの里 山本 美津子	090-3162-3663 fuu.tanpoonosato1599@gmail.com	㊦日時相談
愛知県 碧南市	Alohilani アロマ&チャイルドケアスクール 小笠原 理江	090-1289-3483 alohilani2011@me.com	㊦日時相談
大阪府 大阪市	ぶぶちゃんのぼっぺ 武部 みき	090-7100-6325 rityrosearomama@gmail.com	㊦日時相談 ㊦日時相談
京都府 京都市	ハニーサックル 藤野 智子	090-3925-1861 cocom37@hotmail.com	㊦日時相談
石川県 金沢市	アロマ・クレイ・チャイルドケアApple leaf 川崎 絵里	090-4688-3906 appleleaf2015@gmail.com	㊦日時相談
熊本県 熊本市	チャイルドケアのぞみ 渡邊 望	090-7448-5363 watanon3@yahoo.co.jp	㊦日時相談
沖縄県 うるま市	チャイルドケアスクール木蔭～こかげ～ 山下 洋美	070-4399-3089 yajirobee.374@gmail.com	㊦開催日応相談(午後スタート)

●松本美佳先生によるインターネット配信での基礎編は、「序章 チャイルドケアの概念」が該当します。P12及び、右記八洲学園大学HPにてご確認、お申し込みください。

●八洲学園大学 公開講座 <http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/>
●連絡先／八洲学園大学 045-317-4401

※詳細は上記連絡先までお尋ねください。
※駐車場の代数に制限がありますので、車でお越しの際は乗り合わせいただくか、公共機関のご利用をお願い致します。

ハミングバード関西 イベント企画

ハミングバード関西では、初イベントとなる「チャイルドケアのタッチケア」を開催いたします。チャイルドケアでお伝えしている「タッチケア」は、直接肌に触れるタッチケア

だけではありません。心に触れることを大切にしています。広大な緑があふれ、水辺もある都会のオアシス、大阪の長居公園でお伝えいたします。タッチケアは、幅広い年齢層で楽しむことができますので、お子さんと一緒に参加してみませんか？

■日時／7月23日(月)午前中

■会場／大阪 長居公園(雨天時は中止)

■参加費／500円

■持ち物／フェイスタオル、日本手ぬぐい、飲み物

■問い合わせ先

●ぶぶちゃんのぼっぺ 武部 みき

TEL:090-7100-6325

E-mail:rityrosearomama@gmail.com

●ふ～たんぽぽの里 山本 美津子

TEL:090-3162-3663

E-mail:fuu.tanpoonosato1599@gmail.com



INFORMATION

年会費についてのお知らせ

従来の更新案内郵送に代えて、皆様の年会費の振替予定額をJAAのホームページからご確認いただけるようになりました。

振替予定金額の確認方法

10月の会費振替日は10月9日(火)となります。対象者の振替予定額は「会員専用ページ」よりご確認ください。

●会員専用ページ

ログイン名「seikaiin」
パスワード「JAAaroma」
ログイン後「会員更新・年会費検索ページ」をクリック、「生年月日」「会員番号」を入力いただくと、「お名前」「振替日」「振替予定金額」が表示されます。

※検索にご利用頂く「会員番号」は、会報誌の宛名ラベルのお名前の下の番号を使用致します。

※協会に「生年月日」のご登録がない方は「11111111」で登録されています。検索結果が表示されない場合にお試しください。

●ご案内

・マザーズクラブ年会費の検索には、「3」から始まる12ケ

タの番号をご入力ください。

・その他JAA会員年会費の検索には、別途「9」から始まる7ケタ、または12ケタをご入力ください。

●情報の確認時期

振替予定金額が確認できる時期、また振替指定金融機関の変更締切日は以下となります。

振替日	情報確認の可能時期	金融機関の変更締切日
2月6日の方	12月1日～	12月20日
6月6日の方	4月1日～	4月20日
10月6日の方	8月1日～	8月20日

加盟校
主宰者様へ

2018年9月

チャイルドケア・コーディネーター ライセンス認定試験

実施要項

通学講座：受験手続きの流れ

◆試験日／2018年9月30日(日)

◆受験資格／2018年9月28日(金)現在、協会が指定する各スクールの所定のカリキュラムを修了し、修了証書を有している者

◆試験形式

理論試験(記述・選択)90分

小論文60分

◆受験料／10,800円(税込み)

◆受験願書の提出期間

2018年7月30日(月)～

2018年8月31日(金)(必着)

※認定試験の合格発表は10月上旬、MC会員登録手続きの期限は11月末、登録者へのライセンス証等発送は12月下旬です。

※ホームスタディ講座の受講生は別規定となります。



今後の更なるご活躍を心より
お祈りしています

2018.2/1～2018.5/15付

◆チャイルドケア・コーディネーター合格者の皆さん(敬称略6名)

村山雪野／山口美穂／勝見沙織／尾原美和／田中美保子／宮村久美

◆チャイルドケア・インストラクター合格者の皆さん(敬称略2名)

八木ちなつ／山田未沙紀

MC 会員の更新手続き

下記の受講番号に該当する方は、今後のレポート提出にはMC会員の更新が必要です。(更新手続き書類7月上旬郵送)更新をされない方は、次号より本誌ピーカーブーのお届けもストップします。予めご了承ください。

●受講番号

17CCD103 / 17CCD104
(最初の5桁)
AR17-7 / CC17-5 / CC17-6
CC17-7 / CC17-8

原稿募集! 活動報告など誌面を利用して発表してみませんか?

日本アロマコーディネーター協会 チャイルドケア本部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-25-9 今井ビル 5F TEL/03-5928-3100 FAX/03-5928-3500

E-mail/info@childcare-jp.com URL/www.childcare-jp.com/ ●MC 会員専用ページログイン方法/ログインID:CC パスワード:mckaiin